

TKCのFinTechサービスを採用

青梅信用金庫は、TKC西東京山梨会会員とともに中小企業の成長・発展を支援します

青梅信用金庫（本店：東京都青梅市／理事長：平岡治房）は、株式会社TKC（本社：栃木県宇都宮市／代表取締役社長：角 一幸）が、10月3日より提供する金融機関向けFinTechサービス「TKCモニタリング情報サービス」を採用することを決定し、12月21日より試験稼働し、2017年4月より本格的にサービスの利用を開始します。

同サービスは、TKC全国会会員（税理士、公認会計士）が顧問先からの依頼に基づいて決算書、月次試算表等の財務データを金融機関に提供するサービスです。

当金庫では、このサービスを利用することで、TKC全国会会員が毎月の巡回監査により信頼性を確認したデータから作成する決算書など、信頼性の高い財務データをタイムリーに入手することが可能となります。

当金庫では、このデータを活用して、企業の現状と成長可能性などを評価し、将来の成長に向けた融資の判断や経営に関する助言などを行ってまいります。

なお、平成28年12月16日から以下を目的として協議会を開催し、中小企業支援に向けた継続的な協力関係を構築していくよう活動してまいります。

協議会の開催目的

- ①中小企業支援に向けた相互の活動に対する理解の促進
- ②当サービスの利用促進に関する協力体制の整備
- ③中小企業を支援する新しい金融サービスの開発——など

青梅信用金庫は、TKC西東京山梨会会員とともに中小企業の持続的な成長・発展を支援するとともに地域経済の活性化に寄与してまいります。

「TKCモニタリング情報サービス」について

1. 決算書等提供サービス

顧問先企業からの依頼に基づき、法人税（所得税）の電子申告直後に、融資審査、格付けのために金融機関に対して決算書や申告書等のデータを提供するクラウドサービス

2. 月次試算表提供サービス

顧問先企業からの依頼に基づき、TKC会員事務所による巡回監査と月次決算の終了直後に、金融機関に対してモニタリング用の月次試算表等のデータを提供するクラウドサービス

3. 最新業績開示サービス

顧問先企業からの依頼に基づき、TKC会員事務所のHPを経由して、金融機関に対して、その最新情報を開示するクラウドサービス

※TKC説明会資料より